

- ▶ 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をととして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- ▶ 令和5年度においては、小中学校や青少年野外活動センターなど次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による小中学校の椅子や机等整備を実施しました。
- ▶ また、区役所や交流会館といった市民利用施設において、利用者が身近に木のぬくもりを感じられるよう窓口カウンター、キッズスペースの備品や屋外ウッドデッキの整備を実施しました。

□ 事業内容

港区土地区画整理記念・交流会館整備事業

・令和6年4月開館の港区土地区画整理記念・交流会館の3階オープンスペースにおいて、国産木材を使用した椅子やテーブルを配置することで暖かな雰囲気を創出した。

【事業費】9,240千円（うち譲与税9,240千円）

【実績】サークルベンチ 1台、スタッキングチェア 12台
フラップテーブル（1） 6台、アームチェア 14台
丸テーブル 3台、フラップテーブル（2） 4台
パーテーション 4台、テーブル 2台



□ 事業スキーム

- ・事後審査型制限付一般競争入札

□ 工夫・留意した点

- ・テーブルの天板など強度・硬度が必要な場所には圧縮材の木材を利用した。

□ 基礎データ

①令和5年度譲与額：310,620千円		②私有林人工林面積（※1）：0.00ha	
③林野率（※1）：0.00%	④人口（※2）：2,752,412人		⑤林業就業者数（※2）：157人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より